RICOH & Java™ Developer Challenge Plus 2014 MFP製品説明





複合機を知っていますか?



■ 複合機を、皆さんの生活で使用する機会はありますか!?

複合機とは!?

Multi Function Printer(通称"MFP")と言われます。

【機能】

- ①コピー機能
- ②ファクス機能
- ③プリンタ機能
- 4スキャナ機能
- ⑤ドキュメントボックス機能





基本アプリ,機能の説明1/2

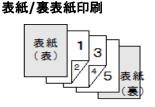


((注意!))SmartSDKで実現できない機能が一部含まれています。 MFPの機能を知って頂くため、ご説明いたします。



スタンプ印字



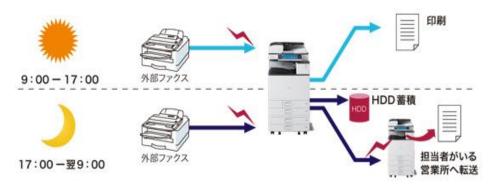


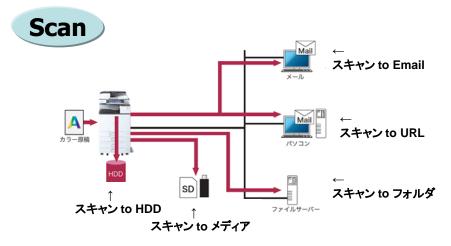
IDカードコピー機能





ファクス受信文書出力切替タイマー











基本アプリ,機能の説明2/2



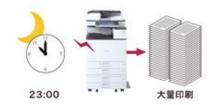
((注意!))SmartSDKで実現できない機能が一部含まれています。 MFPの機能を知って頂くため、ご説明いたします。



メディアプリント



時刻指定印刷



不正コピー抑止地紋印刷機能

「不正コピー抑止」のワークフロー(イメージ図)



機密印刷



印刷データをMFPに蓄積後、パネルからパスワードを入力して印刷する機能。 印刷物の取り間違え、放置の防止。

後処理

ソート/ステープル/パンチ、綴じ(製本、週刊誌綴じ)



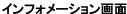
ドキュメントボックス

スキャンした文書データ, ネットワークから受信した データを保存/印刷する。



システム機能

アドレス帳管理 ユーザー認証 利用量制限







MFPの進化~次の"役割"へ~



MFPは次世代の"役割"へ進化する!

①オフィスとクラウドサービスをつなぐ

"共用情報端末"へ(主役はPC/スマートデバイス)

②オフィス全体のコントローラへ進化する

単なる入出力機器(デジタルデータ⇔アナログデータの変換)から次の役割へ





そのために・・・

操作部への「MultiLink-Panel」搭載

直感的な操作

ロングタッチ



一定時間タッチを 続けてメニュー等 を呼び出します。



画面をタッチした 状態で、指を滑ら せ、次の画面を表示 します。

ピンチイン・ピンチアウ



2本の指でタッチし、 指の間隔を広げたり 狭めたりすることで 画面表示の大きさを 変えます。

洗練された機能画面



かんたんコピー画面



新役割 "共有情報端末"

複合機の操作パネルとしてだけでなく、 情報表示画面としても活用していく。

カンタンな アプリ追加

各アプリケーションが簡単 に追加できる! スピーディーに機能提供 できる。





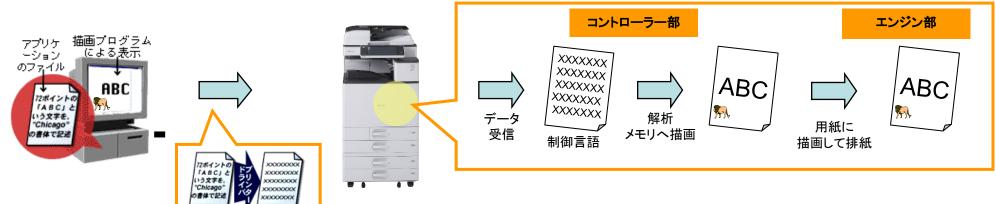
ジョブの概念の説明



- コピー原稿をスキャン~排紙完了
- Fax FAX受信~FAXデータ受信完了 FAX送信~FAXデータ送信完了
- プリンタ印刷データ受信~排紙完了
- スキャナ 原稿のスキャン開始~スキャンデータの保存/配信完了

制帥語

<例>プリンタ



MFPの基本的な概念である "ジョブ"について説明します。 開発ドキュメントや 今後の説明にも出てくる概念です。



[デモ]スマートデバイスからのMFP操作 RICOH imagine. change.

SmartSDKを使って実現している
"スマートデバイスからのMFP操作"のデモを実施します。

デモの前に、

アプリ(Ricoh Smart Device Connector)についてご説明します。



アプリの説明1/2



スマートフォン上で自分専用のコピー/スキャン/FAX/プリント機能を設定できるアプリケーションを提供する。

Before





- ▶コピー設定、スキャン設定に時間 がかかる。
- →プログラム機能を使用する際、マシンごとに設定する必要がある

After





- ▶スマートフォンで設定を持ち歩くことで、いつでも、どのマシンでも同じ 設定を使用可能。
- →スマートフォンに保存されたメー ルアドレス、FAX番号も利用可能な のでMFPへの登録不要。



アプリの説明2/2



NFCタグ、Wifi-Direct機能と組み合わせることで、より簡単にスマートフォンとの接続を可能にする。

不要

Before

LANへの接続、 IPアドレスの設定が必要

スマートフォンから印刷、スマートフォンへスキャンデータの保存がしたいが、スマートフォンと MFPの接続方法がわからない





[体験]MFPの基本機能体験



MFPを自由に使ってみて下さい。

